

課題

【中・英語】社会的な話題に関して読んだことについて、
考えとその理由を書くことが苦手

手立て

読んだことを基に自分の考えとその理由を書く（話す）場面を設定する

具体例

POINT① 日常的な話題に関する活動において考えと理由を示す

◎まずは「好きな動物（季節・教科）」など日常的な話題について、常に自分の考えや理由を整理し、伝える習慣を身につけさせる

「What animal do you like?」に対して「I like cats.」と生徒から反応があった場合に、「Why?」と問いかけます。そのようなやり取りを日常的に繰り返すことで、ある話題について、自分の考えと理由をセットで表現する力が向上します。

POINT② 社会的な話題に関する賛否とその理由の整合性を捉える

◎社会性の高いテキスト文を基に、その賛否に応じた理由をあらかじめ示し、自身の賛否を明らかにした上で、整合性のある理由文を選択させる活動を行う

例えば、「Robots can change many people's lives better.」という話題に対して、

- ① If robots do our housework, we will have more time.
- ② Robots cannot understand our mind.
- ③ People will lose their job.
- ④ Robots can make many products in less time.

「全国学力・学習状況調査」
大問8（2）の設問を例に

などの理由文を提示し、自身の賛否と、それに符合する文を選択する活動を行います。上記の例において、「賛成」であれば①、④が、「反対」であれば②、③が望ましい解答となります。理由文を自分で書くのは難しい場合、このように選ぶだけにする事で、「自分の考えとその理由をつなげる力」を育成することが期待できます。

POINT③ 社会的な話題に関する考えとその理由を実際に書く

◎最後のステップとして、社会性のある文章を読んだ上で、自身の考えや賛否と、その理由を実際に書かせる活動を行う

話題に関する自分の考えや賛否に応じて、整合性のある理由を実際に書かせる活動を行います。「考えとその理由のつながりが適当かペアで確認させる」「because や so, as a result など、理由や原因・結果を表す接続詞を使うよう促す」などの補助的な指導も行いつつ、ポイント②で紹介した設問をもう一度解き直してみませんか？